

## 第77回 病態生化学セミナー

日時：平成25年11月29日（金曜日）午後6時00分～

場所：医学部 図書館3階 視聴覚室

演題：ヒストンH3ユビキチン化を介したDNA維持メチル化制御

Regulation of maintenance DNA methylation by histone H3 ubiquitylation

演者：名古屋市立大学大学院医学系研究科 教授

中西 真 先生

DNAメチル化は比較的安定なエピジェネティック修飾として、クロマチン動態や遺伝子発現制御に重要な役割を果たしている。多細胞生物体においては分化した細胞は固有のDNAメチル化パターンを持っており、これにより安定に分化形質を維持していると考えられている。このDNAメチル化パターンはDNA複製の際に正確に継承される(DNA維持メチル化)が、いかなる分子機構で制御されているのかについては不明な点が多かった。我々はDNA維持メチル化を触媒するDNAメチル化酵素Dnmt1がDNA複製部位に集積するためには、ヘミメチル化DNA結合タンパク質Uhrf1によるヒストンH3リジン23のユビキチン化が必要であることを見出し、DNA複製とDNA維持メチル化との共役機構を明らかにした。本セミナーでは未発表の結果を含めてDNA維持メチル化とヒストン修飾との関連について議論したい。【中西 真】

連絡先：

浦野 健

島根大学 医学部 病態生化学

TEL 0853-20-2126

E-mail turano@med.shimane-u.ac.jp